

米の消費動向調査結果（令和6年6月分）

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）では、米の消費状況を把握するため、全国の消費世帯モニターを対象とした「米の消費動向調査」を毎月行っています。令和6年6月分の調査結果の概要は次のとおりです。

- モニター世帯の平均1人1か月当たり精米消費量は4,804グラム、うち家庭内消費量は3,248グラム、中食・外食の消費量は1,556グラム
- 精米購入・入手経路は「スーパーマーケット」、「家族・知人などから無償で入手」、「ドラッグストア」の順番（前月同）
- 家庭内の月末在庫数量は5.9キログラム

【調査概要】

全国の消費世帯モニターを対象にインターネットを利用して調査した。

家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量並びに世帯人員から推計、中食・外食の消費量については調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計した。なお各消費量は世帯ごとの推計値を算術平均したもの。

（参考）米の消費動向調査のしくみ <https://www.komenet.jp/pdf/chousa%20method.pdf>

令和6年6月分の有効調査世帯数は1,551世帯であった。

集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計した。

米の消費動向調査結果(令和6年6月分)

※地域ごとの世帯人員構成比が、令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で推計(注:令和4年度調査から令和2年国勢調査結果を使用)

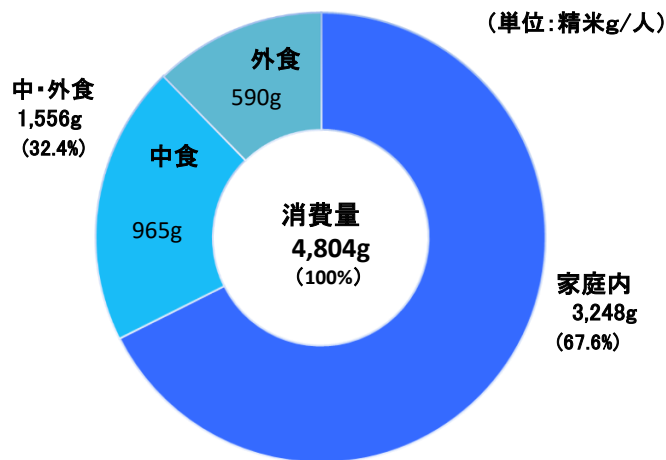
■ 1人1か月当たり精米消費量

<算出方法>

- ◆「1人1か月当たり家庭内消費量」
〔(月初精米在庫量)+(1か月間購入・入手精米量)-(月末精米在庫量)〕÷世帯人員
による1か月分の消費量を30日分へ補正
- ◆「1人1か月当たり中・外食消費量」
「(普通サイズのお茶碗1杯)=(精米65g)」として7日分の合計消費量から、
1か月分(30日分)の消費量を推計

		消費量		
n=			比率	
1人1か月当たり	(1551)	4,804	100.0%	
家庭内	(1551)	3,248	67.6%	
中・外食	(1551)	1,556	32.4%	(100.0%)
中食	(1551)	965	20.1%	(62.0%)
外食	(1551)	590	12.3%	(37.9%)

(注) 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。



[参考] 1人1か月当たり精米消費量の推移

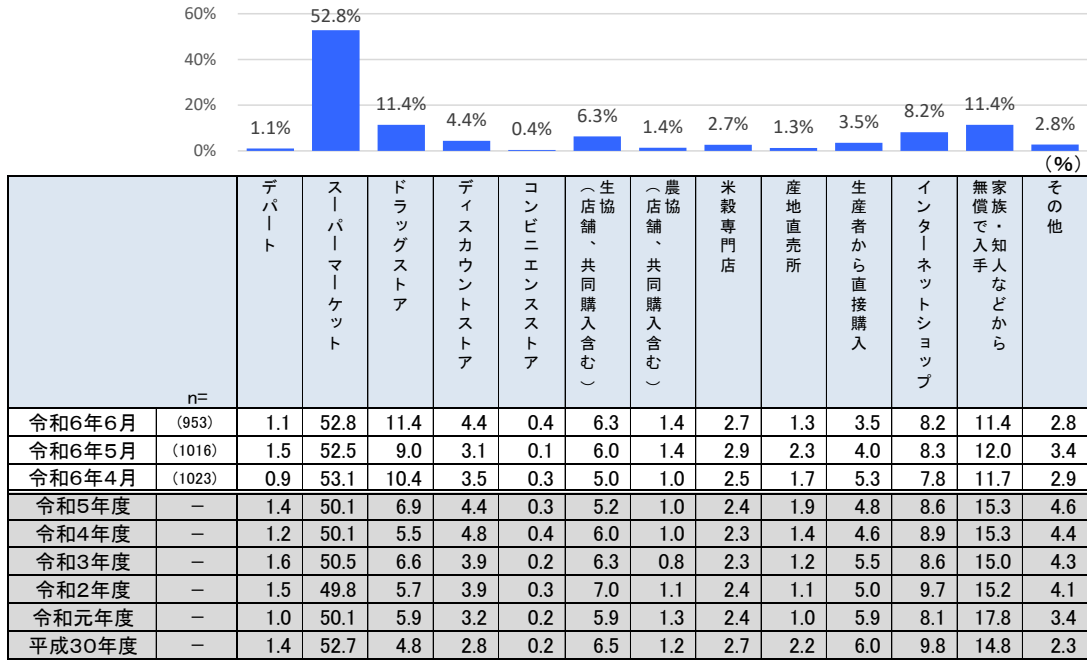
	1か月当たり消費量			家庭内消費量			中・外食消費量		
	消費量	シェア	対前年 同月比	消費量	シェア	対前年 同月比	消費量	シェア	対前年 同月比
令和6年6月	4,804	100.0	2.5	3,248	67.6	2.3	1,556	32.4	2.8
令和6年5月	4,785	100.0	1.6	3,285	68.7	4.3	1,501	31.4	▲ 3.9
令和6年4月	5,091	100.0	2.6	3,437	67.5	2.3	1,654	32.5	3.1
令和5年度	4,626	100.0	0.0	3,088	66.8	▲ 2.7	1,538	33.2	6.1
令和4年度	4,625	100.0	2.1	3,175	68.6	1.1	1,449	31.3	4.4
令和3年度	4,529	100.0	▲ 4.2	3,140	69.3	▲ 4.1	1,388	30.6	▲ 4.7
令和2年度	4,730	100.0	2.2	3,274	69.2	5.1	1,456	30.8	▲ 3.7
令和元年度	4,626	100.0	4.5	3,114	67.3	0.5	1,512	32.7	14.0
平成30年度	4,426	100.0	▲ 3.8	3,100	70.0	▲ 5.0	1,326	30.0	▲ 1.1

(注)1. 平成30~令和5年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

2. 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

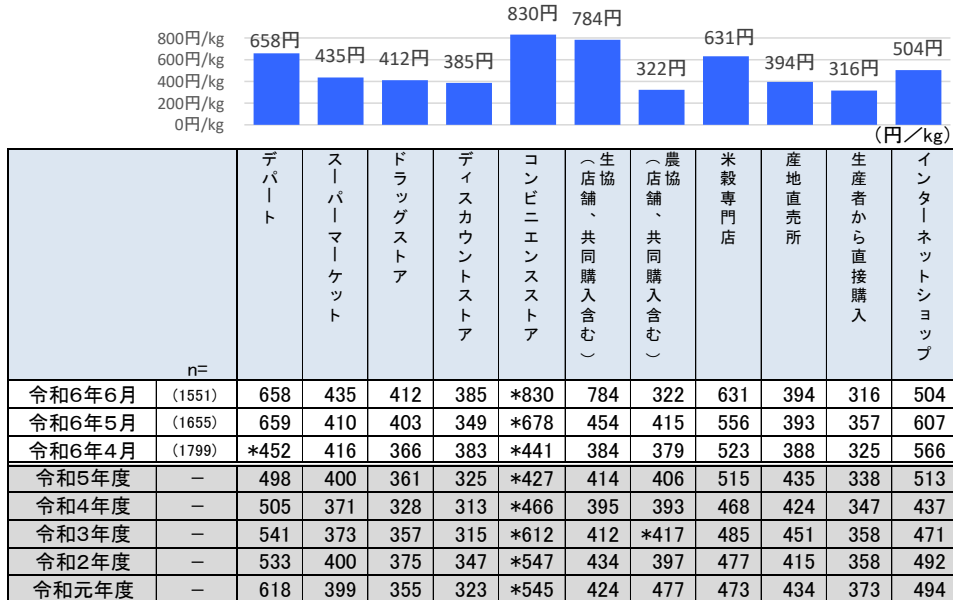
3. 前年度と今年度の推移を参考として4ページに掲載している。

■精米購入・入手経路（購入人数割合（複数回答））



(注) 平成30～令和5年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

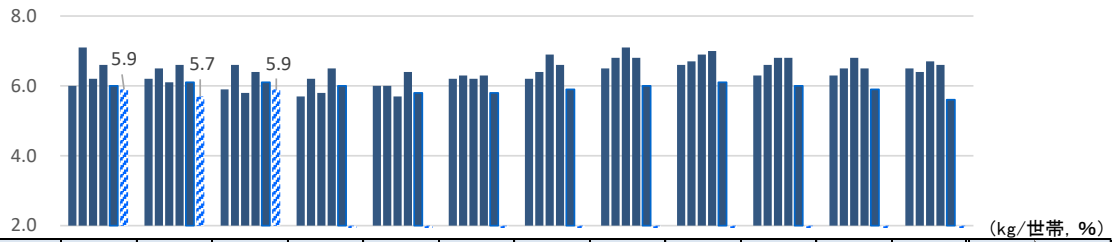
■精米購入経路別の購入単価（複数回答）



- (注) 1. デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
 2. 購入単価は消費税を除く本体価格である。
 3. 表中の*付きの購入単価は、「精米購入・入手経路」の割合が1%に満たないため参考値とする。
 4. 令和元～令和5年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

■家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯) ■ 令和元年度 ■ 令和2年度 ■ 令和3年度 ■ 令和4年度 ■ 令和5年度 ▨ 令和6年度



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
令和6年度	月末在庫数量	5.9	5.7	5.9										5.8	▲1.7
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21										2.21	-
令和5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0	5.9	5.6	5.9	▲10.6
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	-
令和4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	-
令和3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
令和2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
令和元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-

(注) 1. 地域ごとの世帯人員構成比が令和元～令和3年度は平成27年国勢調査、令和4～令和6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。
2. 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

■ [参考] 1人1か月当たり精米消費量の推移(令和5年4月～令和6年6月)

(単位: 精米g/人、%)

	1か月当たり消費量		家庭内消費量		中・外食消費量	
		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比
令和5年4月	4,962	1.7	3,359	▲0.3	1,604	6.4
5月	4,710	0.9	3,149	▲1.8	1,562	7.1
6月	4,689	2.1	3,176	0.6	1,513	5.3
7月	4,504	2.2	3,017	▲0.5	1,487	8.1
8月	4,349	▲2.0	2,856	▲6.5	1,493	7.7
9月	4,476	2.9	3,008	▲0.1	1,468	9.5
10月	4,823	▲2.4	3,262	▲3.6	1,562	0.4
11月	4,940	2.2	3,347	0.5	1,593	6.0
12月	4,486	▲1.8	2,876	▲5.7	1,609	5.9
令和6年1月	4,536	▲0.0	3,024	▲1.7	1,512	3.6
2月	4,638	▲2.8	3,074	▲9.4	1,564	13.3
3月	4,396	▲2.5	2,913	▲4.2	1,483	1.2
4月	5,091	2.6	3,437	2.3	1,654	3.1
5月	4,785	1.6	3,285	4.3	1,501	▲3.9
6月	4,804	2.5	3,248	2.3	1,556	2.8

(注) 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

<次回の公表スケジュール>

調査月		公表予定日時	
令和6年	7月分	令和6年	8月26日 16時

※ 集計処理の都合により、公表スケジュールを変更することがあります。
その際は改めて当機構ホームページにてお知らせします。

米穀機構ホームページ「米ネット」(<https://www.komenet.jp/>)にて公表します。

本件に関するお問い合わせ先

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構
情報部 Tel.03-4334-2161